

令和 8 (2026) 年度

学生募集要項 医学部学校推薦型選抜

公募（地域特別枠）



獨協医科大学
Dokkyo Medical University

CONTENTS

建学の理念・教育理念・アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	1
◇ 学校推薦型選抜（公募（地域特別枠））	4
学校推薦型選抜（公募（地域特別枠））の趣旨及び目的	4
募集学科及び募集人員	4
推薦基準（出願資格）	4
入学後のカリキュラム上の条件	5
出願手続	5
出願方法	5
試験日・試験場及び試験方法	6
選抜方法	7
合格発表	8
入学手続	8
◇ 学納金等について	9
入学時納入金	9
在学6年間にかかる学納金	9
奨学金制度	9
寄付金	9
◇ 入学前教育について	10
◇ 個人情報の取扱いについて	10
◇ 試験場案内図	11

建学の理念

- 1) 人間性豊かな医師及び看護職者の育成
- 2) 能力の啓発に重点を置く教育方針
- 3) 地域社会の医療センターとしての役割の遂行
- 4) 国際的交流に基づく医学・看護学研究

教育理念

患者及びその家族、医療関係者をはじめ、広く社会一般の人々から信頼される医師の育成。

アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)

本学の建学の精神、医学部教育理念、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づいて教育を行うため、次のような基本的な素養を満遍なく備える人を入学生として求めます。

＜求める入学生像＞

- 1) 医学を学ぶ強い意志を持っている人
- 2) 医学を学ぶ上で必要な基礎学力を有し、計画性を持って学習に臨み、自ら問題を解決する能力のある人
- 3) 理性と常識を備え、社会に貢献する意欲のある人
- 4) 協調性とコミュニケーション能力を持ち、他者の立場になって物事を考え行動できる人
- 5) 国際的視野を持って医学を志す人

獨協医科大学医学部では受験生に対し、入学生に求めるこれらの素養及び学力の3要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学修する態度）を踏まえ、多面的・総合的に評価・判定するため、次のとおり様々な選抜方法を導入しており、各選抜方式の特性に応じ、各種の試験方法を取り入れて、公平かつ公正な入学者選抜を行います。

<各選抜方式の概要>

(1) 一般選抜（前期・後期）

学力試験結果に重点を置き評価する。

(2) 総合型選抜

多様な試験結果を総合的に評価する。

(3) 学校推薦型選抜（公募（地域特別枠））

出身高校の推薦に重きを置き評価し、併せて地域医療貢献への意欲等を評価する。

(4) 学校推薦型選抜（指定校制）

出身高校の推薦に重きを置き総合的に評価する。

(5) 学校推薦型選抜（指定校制（栃木県・埼玉県・茨城県地域枠））

出身高校の推薦に重きを置き評価し、併せて対象とする県の地域医療貢献への意欲等を評価する。

(6) 学校推薦型選抜（系列校）

出身高校の推薦に重きを置き総合的に評価する。

(7) 一般選抜（栃木県・新潟県地域枠）

学力試験の結果に重点を置き評価し、併せて対象とする県の地域医療貢献への意欲等を評価する。

<入学までに求める学習成果>

医学部では、多様な学問分野を学修することから、将来、医師となり活躍するために必要な学力、倫理観、医学や社会への高い関心などを身に付けておくことを望みます。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）の内容は本学ホームページを参照ください。

<https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/overview/philosophy.html>



「学力の３要素」を踏まえた多面的・総合的評価について

◎：特に強く関連 ○：強く関連

入試種別		評価方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
総合型選抜	総合型	自己申告書等			◎
		適性試験	◎	○	
		小論文	○	◎	
		面接		◎	◎
		プレゼンテーション		◎	
学校推薦型 選抜	公募（地域特別枠） 指定校制 指定校制（栃木県地域枠） 指定校制（埼玉県地域枠） 指定校制（茨城県地域枠） 系列校	調査書			◎
		自己申告書等			◎
		適性試験	◎		
		小論文		◎	
		面接		◎	◎
一般選抜	一般（前期） 一般（後期）	調査書			◎
		学力試験	◎		
		小論文		◎	
		面接		◎	◎
	栃木県地域枠 新潟県地域枠	調査書			◎
		学力試験	◎		
		小論文		◎	
		面接		◎	◎

〔禁煙への取り組みについて〕

獨協医科大学では、人々の健康を守る医療職者を育成する大学として、入学者は喫煙しないことを約束できる方とします。

◇ 学校推薦型選抜（公募（地域特別枠））

○ 学校推薦型選抜（公募（地域特別枠））の趣旨及び目的

わが国では現在、医師の地域及び診療科の偏在により医療体制に様々な問題が生じており、とりわけ、地方における医療環境は深刻な状況となっております。

このため、国の医師確保対策のひとつとして医学部の定員増が図られ、本学においても平成21年度に10名、22年度に5名、24年度に3名、さらに25年度に2名の入学定員の増員が認められて現在に至っております。

平成21年度に増員された10名については、平成22年度入試から「公募推薦（地域特別枠）入学試験」として募集を開始いたしました。

平成23年3月、本学に近接する北関東自動車道（常磐道－東北道－関越道を結ぶ）が全面開通し、平成25年4月には同自動車道壬生インターチェンジと本学を結ぶ「インター北通り」が開通いたしました。このように北関東地域間はもとより他地域からのアクセスが格段に向上いたしております。また、栃木県の支援により本学大学病院を基地とする県内初のドクターヘリが運航しており、前述の道路交通網の整備と相まって救命救急医療に果たす本学の役割も極めて重要となってきており大きな期待が寄せられています。

このように北関東地域における医療の中核としての本学の使命は重く、今後更なる地域医療への貢献と医療人の育成に努めていかなければなりません。

以上のことから、将来、北関東3県（栃木・群馬・茨城）、埼玉県及び福島県いずれかの地域での医療に貢献したいとの「熱い思い」を持った人材を求めます。

○ 募集学科及び募集人員

医学部医学科 10名

○ 推薦基準（出願資格）

次の要件をすべて満たしている者としします。

1. 卒業後、北関東3県（栃木・群馬・茨城）、埼玉県及び福島県いずれかの地域で医師として医療に従事する意志のある者
2. 北関東3県（栃木・群馬・茨城）、埼玉県、福島県及び東京都の各都県内高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業見込みの者、または本人もしくは保護者が、令和5年4月1日から引き続き当該地域に在住している者（この場合は住民票を添付してください）
3. 合格した場合、必ず入学する者
4. 高等学校を令和8年3月卒業見込みの者
5. 在学期間（第3学年については1学期）を通して全体の学習成績の状況が4.0以上であること
6. 本学の医学教育に耐え得る心身と医師を志すにふさわしい資質を有する者
7. 学校長が推薦し得る者

※ 本学推薦指定校に在学し、双方の出願資格を満たした者は学校推薦型選抜（指定校制）との併願が可能です。併願する場合、本要項と出願手続等が異なりますので、学校推薦型選抜（指定校制）要項を確認の上、出願してください。

なお、学校推薦型選抜（指定校制（各地域枠））との併願はできません。

○ 入学後のカリキュラム上の条件

学校推薦型選抜（公募（地域特別枠））で入学後、必修科目及び選択必修科目に加えて、地域医療に関する所定科目の履修が必須となります。

○ 出願手続

1. 出願期間：令和7年11月1日（土）～11月5日（水）（出願書類郵送必着）
2. 出 願 先：獨協医科大学 学務部入試課

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地

電話 0282（87）2108（直通）

※ いかなる理由があっても、締切日の17時以降は受理できません。

早めに郵送していただくなどして、締切には十分に注意してください。

○ 出願方法

下記のものを取り揃え、上記出願期間中に書留郵便により送付してください。

- ① 志願票[A]・写真票[B]・受験票[C]・検定料納付票[D]

※ 本学所定用紙に出願者本人が記入してください。

- ② 自己申告書 ※ 本学所定用紙に出願者本人が記入してください。
- ③ 調査書（令和7年度第1学期までの成績記載のもの）
- ④ 学校長推薦書 本学所定用紙（本学ホームページよりダウンロード可【Word形式】）
URL：<https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/exam/>
- ⑤ 写真 2枚（縦4cm、横3cm、無帽上半身正面、令和7年8月以降撮影のものを志願票 [A]・写真票[B]（2か所）に貼付してください）
- ⑥ 住民票（出願資格「本人もしくは保護者が令和5年4月1日から引き続き当該地域に在住している者」に該当の者のみ提出）
- ⑦ 検定料 60,000円（本学所定の振替払込用紙を用い、最寄りのゆうちょ銀行・郵便局から払込みをしてください。なお、払込機能付きATMを利用することもできます。ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口から払込みの場合は「振替払込受付証明書（お客さま用）」（原本）を、払込機能付きATMから払込みの場合は「ご利用明細票（振替受付票）」（コピー）を検定料納付票 [D] に貼付してください）
- ⑧ 連絡用宛名シール（受験票の返送に使用しますので、確実に受け取ることができる住所（原則として保護者の住所）及び志願者本人の氏名を記入してください。）

※ 1. 上記の手続を完了した者には、本学から受験票を発行します。

なお、出願書類に不備がある場合は受理できない場合があります。

※ 2. 受理した書類・検定料は理由の如何にかかわらず返還しません。

※ 3. 虚偽の記載が判明した場合は、合格を取り消すことがあります。

※ 4. 疾病・負傷や身体障害等により、受験上の特別な配慮を希望する者は、下記の本学ホームページに記載の申請手順に従い、申請を行ってください。

<https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/exam/special-measure.html>



○ 試験日・試験場及び試験方法

<第1次試験>

1. 試験日：令和7年11月8日（土） 入室時間：7:40～8:25
着席時間：8:30

2. 試験場：獨協医科大学（11ページ参照）

3. 試験方法：Ⅰ. 小論文 8:50 ～ 9:50 （60分）
Ⅱ. 基礎適性（英語） 10:05 ～ 11:05 （60分）
Ⅲ. 基礎適性（数学） 11:20 ～ 12:20 （60分）
Ⅳ. 書類審査（調査書・推薦書・自己申告書）
※小論文・基礎適性は記述式。

試験当日の注意事項：

- ① 受験票を必ず携帯してください。
- ② 8:50以降の試験室への入室は一切認められません。
- ③ 机上には、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）を置くことができます。
- ④ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用してはいけません。
なお、これらの電子機器類や補助具をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。
- ⑤ 試験時間中に使用すると不正行為となる電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってから、かばん等にしまっておいてください。
- ⑥ 英文字がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- ⑦ 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験ができなくなります。また、受験した全ての試験成績を無効とします。

- ・ 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（志願票・写真票に本人以外の写真を貼ることや本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。
- ・ カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- ・ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ・ 配付された問題冊子・解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・ 「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ・ 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ・ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ・ 試験時間中に携帯電話などの電子機器や時計などの音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らし、試験の進行に影響を与えること。
- ・ 「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- ・ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- ・ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ・ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ・ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

＜第2次試験＞

1. 試験日：令和7年11月14日（金） 入室時間：8:45～9:00
着席時間：9:05

2. 試験場：獨協医科大学（11ページ参照）

3. 試験方法：面接（MMI方式） 9:30～

※MMI（multiple mini interview）は、受験者が評価項目別の面接室を巡り、各々独立した面接を1室5分間で5回行います。

試験当日の注意事項：

- ① 受験票を必ず携帯してください。
- ② 入室時間を厳守してください。

○ 選抜方法

第1次試験は、書類審査及び小論文、基礎適性（英語・数学）の成績によって合格者を決定します。

第2次試験は、第1次試験合格者に対して面接を行い、第1次及び第2次試験の成績を総合して合格者を決定します。

1. 書類審査：

調査書は、「学習成績の状況」だけでなく、部活動やボランティア活動、特別活動の記録や総合的な学習の時間の内容・評価など、調査書の他の記載事項も有効に活用し、点数化します。推薦書、自己申告書は、推測される日常活動を考慮して社会に向き合う態度、主体性、協調性、医学に対する志などを評価します。

2. 小論文：

課題文の読解力や要約力、良好な倫理観及び解答を明確な分かりやすい文章で表現できるかなどを評価し、点数化します。

3. 基礎適性（英語・数学）：

英語、数学の基本的な学力を有するか評価します。

選択問題形式での出題は行わず、特定の志願者が不利にならない出題となるよう配慮します。

4. 面接（MMI方式）：

表現力、判断力、論理的思考力や協調性及び地域医療貢献への意欲などを評価し、点数化します。

○ 合格発表

1. 日 時：〈第1次合格発表〉令和7年11月12日（水）10:00
〈第2次合格発表〉令和7年12月 1日（月）10:00
2. 方 法：本学ホームページ（入試情報サイト→医学部→合格者発表）から、合否照会サイトにアクセスし、下記の手順により合否を確認してください。
下記URL又はQRコードから、直接合否照会サイトにアクセスすることも可能です。



獨協医科大学 合否照会サイト

<https://www.postanet.jp/PassPlus/Login?gkcd=012032>

＜画面操作方法＞

- ① 受験番号（S+ 数字3桁）、誕生日入力
- ② 「ログイン」 ボタンを押す
- ③ 合否結果を確認

※画面イメージ

【合否照会期間】

1次合格発表：令和7年11月12日（水）10:00から11月14日（金）17:00

2次合格発表：令和7年12月 1日（月）10:00から12月 9日（火）17:00

注意事項：

- * 第1次試験の合格通知書はありません。
- * 合格通知書は郵送しません。お手元に残したい場合は、合否照会システムから合否照会期間内に各自ダウンロードしてください。なお、高等学校長には合否結果を文書にて通知します。
- * 合格発表に関する問い合わせ、インターネットの操作方法等には一切応じません。
- * インターネット上で、データの改ざん、通信上のトラブル等が発生しても本学は一切の責任を負いません。
- * インターネットの誤操作、読み違い等を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。

○ 入学手続

手続期限：令和7年12月9日（火）

- (1) 合格者にのみ表示される「web入学手続システム」にアクセスし、入学手続を行ってください。9ページに記載する入学時納入金を納付し、所定の手続を行うことで完了となります。
- (2) 入学手続の細目は、合否照会サイトからダウンロードして必ず確認してください。

◇ 学納金等について

○ 入学時納入金

下記の「1. 入学費用」と「2. その他の費用（委託徴収金）」の合計金額とします。

なお、入学金を除く学納金（授業料及び教育充実費）については、2分割納入（分納）の制度があります。

1. 入学費用

項 目	全納の場合	分納の場合	
		前期	後期
入 学 金	1,500,000 円	1,500,000 円	－
授 業 料	3,500,000 円	1,750,000 円	1,750,000 円
教育充実費	3,600,000 円	1,800,000 円	1,800,000 円
合 計	8,600,000 円	5,050,000 円	3,550,000 円

※ 分納の場合、入学手続きに当該手続きに関する書類の提出が必要です。

※ 教育充実費の分納は初年度のみとなります。

2. その他の費用（委託徴収金）

項 目	金 額	備 考
学友会費	100,000 円	入学時のみ
父母会費	600,000 円	入学時のみ
合 計	700,000 円	

※ 入学手続き完了者は必ず入学するものとして取扱いますので、既納の納入金は一切返還いたしません。

○ 在学6年間にかかる学納金

項 目	初年度	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次	計
入 学 金	1,500,000 円						1,500,000 円
授 業 料	3,500,000 円	3,500,000 円	3,500,000 円	3,500,000 円	3,500,000 円	3,500,000 円	21,000,000 円
教育充実金	3,600,000 円	2,100,000 円	2,100,000 円	2,100,000 円	2,100,000 円	2,100,000 円	14,100,000 円
合 計	8,600,000 円	5,600,000 円	5,600,000 円	5,600,000 円	5,600,000 円	5,600,000 円	36,600,000 円

※ 授業料は2年目以降についても2分割納入（分納）の制度があります。

○ 奨学金制度

- ・獨協医科大学特別奨学金
- ・獨協医科大学医学生教育ローン利子補給奨学金
- ・関育英奨学金
- ・獨協医科大学桜杏会互助事業修学金
- ・獨協医科大学災害罹災等学生に対する授業料減免
- ・日本学生支援機構奨学金
- ・民間団体・地方公共団体奨学金 各種

○ 寄付金

本学では教育研究設備充実のため、入学後に別に定める「寄付金募集趣意書」に基づき、任意の寄付金を募集します。

◇ 入学前教育について

本学では、学校推薦型選抜での合格者に対して、入学前教育を行います。詳細については、12月13日（土）開催の入学予定者オリエンテーションでお知らせします。

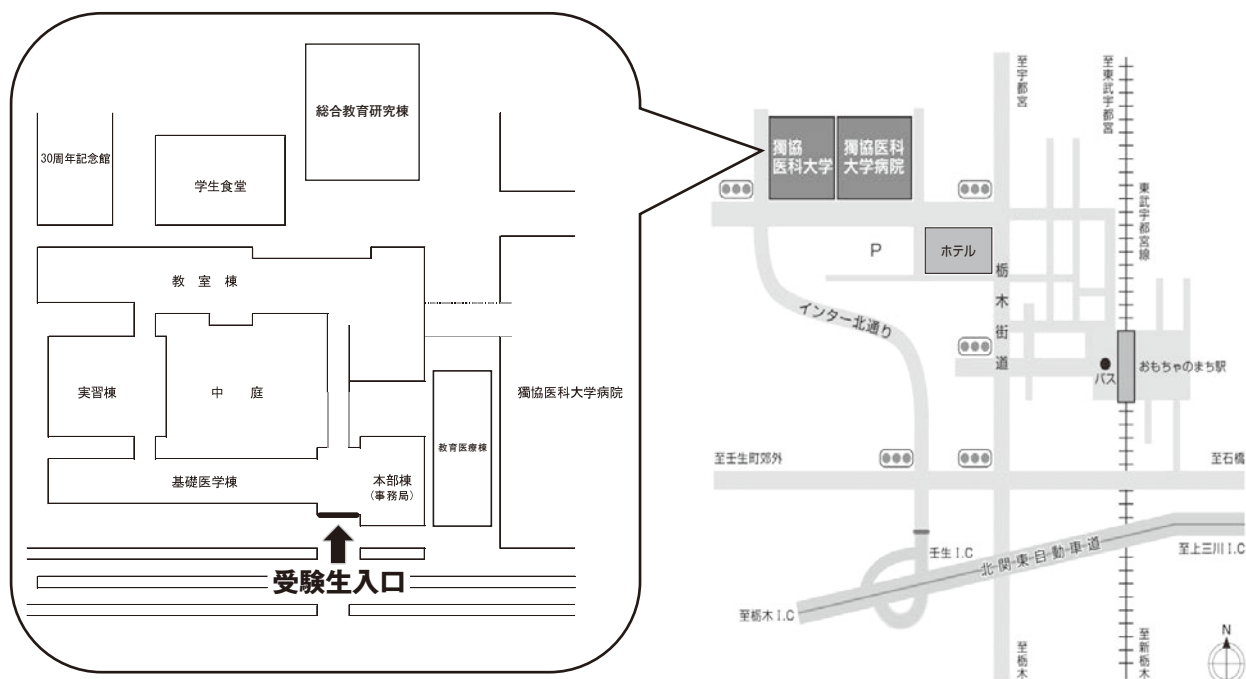
◇ 個人情報の取扱いについて

本学では、出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、入学者選抜、合格発表及び入学手続と、これらに付随する業務を行うために利用します。

また、入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者選抜方法等に関する調査・分析、入学後の学生生活支援に係る業務に利用します。その他の目的に利用することはありません。

上記業務の一部については、獨協医科大学と秘密保持契約を結んだ業者（以下「受託業者」）で行います。委託業務を遂行するため、受託業者に対して必要な範囲で、お知らせいただいた個人情報を提供します。予めご了承ください。

◇ 試験場案内図



電車を利用する場合

- (東武鉄道を利用)
- ・東武宇都宮線「おもちゃのまち」駅下車、西口より徒歩約15分（「獨協医大病院前」行きバスにて約3分）
- (JRを利用)
- ・JR「宇都宮」駅より、市内バスにて「東武宇都宮」駅下車（約10分）
「東武宇都宮」駅より東武宇都宮線にて「おもちゃのまち」駅下車、西口より徒歩約15分（「獨協医大病院前」行きバスにて約3分）
- ・JR「宇都宮」駅よりタクシーにて約35分、JR「小山」駅よりタクシーにて約45分、JR「石橋」駅よりタクシーにて約15分

お車を利用する場合

- ・北関東自動車道「壬生IC」から3分
- ・東北自動車道「栃木IC」から30分
- ・東北自動車道「鹿沼IC」から30分

